

4. リーディングプロジェクトの進捗状況

(1) よこすか里山的環境保全・再生プロジェクト

プロジェクトの概要

本市におけるみどりの保全・再生と市民協働が一体となったモデル事業を進めるための、「里山的環境の保全・再生」を軸とした施策を展開するプロジェクトです。

プロジェクトでは、まず短期的な取り組みとして、代表的な里山的環境としてモデル地区を選定し、維持管理、活用のできる場として確保し、再生します。モデル地区では、土地所有者(樹林地、田畑など)や市民、NPO、学校、事業者、市(行政)など、多様な主体の参画による維持管理体制の構築や、手法の検討を行います。また、参画した学校や企業などでの環境教育への活用など、地域活性効果のある取り組みについても検討します。

中・長期的には、上記のモデル事業での実績を踏まえ、本市における里山的環境の保全・再生のため、維持管理の具体的な手法や留意事項、活用メニューや、流域ごとの特性を踏まえた取り組み事項などを検討し、他地域へその取り組みが発展していくことを目指します。

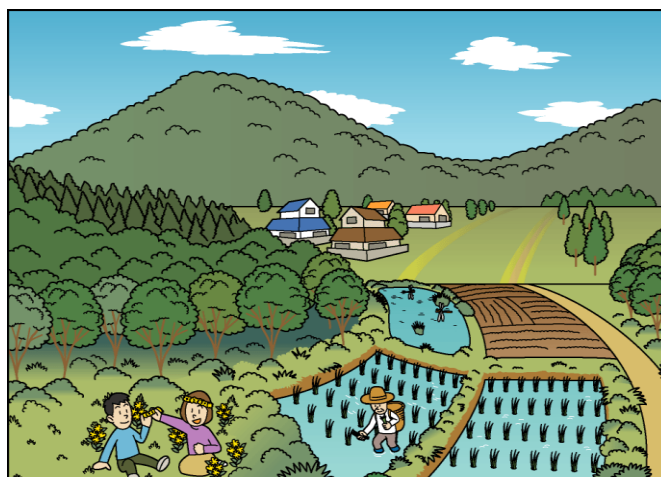
平成23年度の進捗状況と今後の予定

本プロジェクト推進にあたり、平成23年度はモデル事業となる候補地の選定を行いました。このモデル事業は、市民、事業者、市の連携によって地域主導で水田や雑木林などの手入れを継続的に行うことで、里山的な環境や風景を残すとともに、人々が身近な自然とふれあうなど、多様な体験の場として活用することを目的としています。

候補地の選定にあたってはこれらを考慮したうえで、まず、11カ所の候補地に対する予備調査を経て5カ所に絞り込みを行いました。

その後、現地調査の実施、土地所有者に対する事業協力の意向聴取などを行い、最終的に「野比：久里浜医療センター裏(千駄川上流)」と「長坂：沢山池周辺(荻野川上流)」の2カ所をモデル事業実施地区として選定しました。

平成24年度は、モデル地区における事業実施に向けて、イベントなどにおけるプロジェクトの周知や、田んぼづくり講習会などの指導者育成講座の実施、市民協働による維持管理の仕組みづくり等を中心に進めていくこととしています。



保全・再生された里山的環境のイメージ

(2) よこすか海辺環境保全・再生プロジェクト

プロジェクトの概要

本市における海辺保全・再生と市民協働が一体となったモデル事業を進めるためのプロジェクトです。

具体的には、先導的に取り組みが必要な地域を東京湾内湾とし、市だけではなく、市民やNPO、事業者などの協働により、海辺の保全・再生や、利活用についての計画を立案し、各主体の役割分担を明確にします。

こうした計画に基づいた施策の展開にあたり、まず、海岸の侵食対策や合流式下水道の改善、アマモ場の再生などを中心に取り組みを進め、さらには、砂浜再生のための各種施策や下水道の高度処理について検討を進めることで、干潟や藻場などの浅海域の保全や再生を推進し、海の自浄能力を高めることを目指します。また、海辺に関するイベントの開催や環境教育・環境学習としての活用を図り、観光客も含めた交流人口増加や、美化活動など、ふれあいの場の創出を推進することとします。

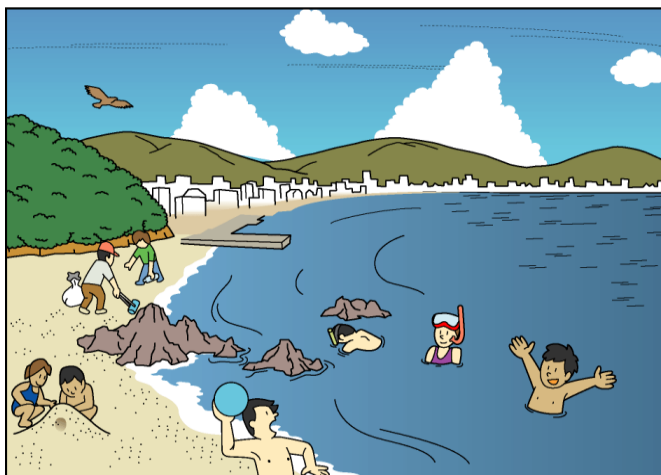
平成23年度の進捗状況と今後の予定

平成23年度は、本プロジェクトに関連する主な施策として、海岸の侵食対策や高潮対策事業の推進、合流下水道の改善などの施設整備に関する取り組みや、自然観察会の開催、海浜の美化活動などを実施しました。また、浅海域の保全・再生については、砂浜などの再生に向け、庁内検討会議において候補地の検討などを行いました。

また、本プロジェクトに関連が深い「横須賀港港湾環境計画」においては、計画の中間評価を行い、施策の実施状況の検証・評価や今後の課題などを整理するとともに、新たに「浅海域の再生」を含めた3つの重点施策を位置付けました。

平成24年度は、引き続き施設整備に関する取り組みや各種イベントを開催するとともに、浅海域の再生については、外部委員を含めた検討組織として「横須賀港浅海域保全・再生研究会」を立ち上げ、プロジェクトの具体化に向けた検討を進めることとします。

また、イベントにおける周知などを行いながら、プロジェクトの推進に対する市民・市民団体の意見聴取を行うこととします。



保全・再生された海辺環境のイメージ

(3) 経済と環境の好循環プロジェクト

プロジェクトの概要

経済と環境が持続的に向上する「持続可能なまち」の実現を目指し、地球温暖化対策や資源循環の推進と市民協働が一体となったモデル事業を進めるための、「地域版ポイント制度」のような「楽しみ(経済的なメリットなど)」を軸とした施策を展開するプロジェクトです。

具体的には、低炭素化(高効率照明や機器の導入など)やグリーン化(緑化など)などに取り組む商店街を支援します。また、最寄りの公共交通機関から商店街や観光施設などへのアクセス性を、二酸化炭素の排出量を増加させることなく高めるため、レンタサイクル事業やEV(電気自動車)の充電ステーションの整備を進めます。

こうした個々の取り組みは単独でも効果がありますが、さらに取り組みを地域全体の活性化につなげるため、「地域版ポイント制度」のような、取り組みによりメリットをもたらし、楽しんで環境施策に取り組むことができるような制度を検討し、実施します。

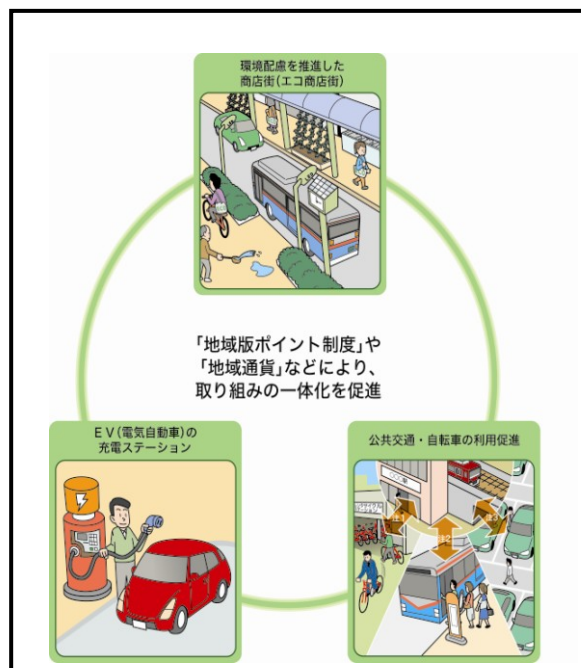
平成23年度の進捗状況と今後の予定

本プロジェクトは「低炭素で持続可能なよこすか 戦略プラン(2011～2021)」における重点プロジェクトである「経済活動と環境活動の連携による地域活性化プロジェクト」と関連したプロジェクトとなっています。平成23年度は、プロジェクトの推進について検討を行うため、商工会議所や市の関係部局(経済部・資源循環部等)で構成する重点プロジェクト推進検討会議を設置し、他都市事例を参考にインセンティブのある「エコポイント制度」について、検討を行いました。

また、関連施策では、商店街に対する支援として商店街共同施設整備・補修事業補助を実施したほか、EVの普及については、民間事業者における充電設備3基の設置および3台の購入

に対する補助を実施しました(ただし、商店街共同施設整備・補修事業の補助対象においては、環境へ配慮した設備の導入に関する事業はありませんでした)。

平成24年度は、引き続きプロジェクトの推進について検討を行うため、重点プロジェクト推進検討会議を開催し、他都市事例を参考にインセンティブのある「エコポイント制度」を、2013年度(平成25年度)から開始することを旨として、具体的な事業内容の検討を行うほか、商店街に対する支援やEVの普及に向けた取り組みを継続して実施します。



プロジェクトの推進イメージ